

第3期河内長野市地域公共交通網形成計画（案）に対するパブリックコメント意見一覧

【概要】

平成26年11月1日（土）～11月30日（日）まで、市内の主な公共施設及び市ホームページにおいて公表し、第3期河内長野市地域公共交通網形成計画（案）に対するパブリックコメントの意見募集を実施しましたところ、4名（5件）の貴重なご意見をいただきました。ご意見の内容を踏まえ、市及び本市地域公共交通会議において検討しましたところ、計画修正の必要な箇所はありませんでした。なお、これらのご意見と、ご意見に対する市の考え方は下記のとおりです。

NO	ご意見	市の考え方	公表可否
1	キックスからオークワまでコミュニティバスを運行してもらえますか。行きは、あぶらじんからキックスへ向かう方向で検討してほしい。		可
2	公共交通の拡充推進には大賛成です。当市内は健康な人や介護予防のための健康推進にはもってこいの坂道のアップダウンもあってとてもいい環境と思っています。しかし、高齢者や若い人でも一度病気や怪我をするとその坂道がネックになって歩くのをやめたり、自転車すら使うのをやめる人が出てきています。駅から徒歩圏内であったはずのところでも自力外出がかなわず、苦労されているケースを聞いています。そういう場合は、まずは既存バス路線が近くを通っている場合は、ルート上にバス停を新設したり延長や迂回などで対策を図るべしと考えます。		可
3	私の住んでいます中片添町は、駅に近い町ですが坂があって、身体に少し不自由のある人は三日市町駅からタクシーを使わざるを得ません。住宅地開発時の説明では三日市町駅から美加の台方面へのバス便が出ると聞いていたのに、一向にその気配もなく現在に至っています。そこで青葉台方面行きバスを中片添町の坂道を上がりきったところにバス停を新設するか、美加の台循環バスを三日市町駅まで延伸し、途中、中片添町にバス停を新設するかを考えていただきたいと思います。		可
4	松ヶ丘、桐ヶ丘、自由ヶ丘地域の方が利用しやすい大阪狭山市の循環バスのルートについても、「河内長野市バスマップ」に表記しても良いのではないのでしょうか。また、この地域は河内長野方面、大阪南医療センターへのバスアクセスがないので、需要次第ですが、路線を作っても良いと思います。	本市のバス路線は、千代田駅・河内長野駅・三日市町駅を中心として放射線状に形成されており、これらの主要駅に美加の台駅を加えた4駅周辺をモックルコミュニティバスが結んでおり、主に市役所・キックス・病院などの公共施設へのアクセス充実を図っております。	可
5	<p>一、【公共交通についての基本的な考え方】 公共交通を整備・充実させるということは、単に移動困難者の解消という意味だけではなく、まちづくりの土台、ひいては地方都市・創生・活性のため役割が非常に大きいと思います。都市再生・活性のためには、福祉・医療・商工業の振興・観光・教育などのそれぞれの積極的な施策が大切ですが、公共交通の整備・充実こそがインフラ・まちづくりの土台として整備・充実することがより大切なことと考えられます。</p> <p>二、【当市がおかれている公共交通についての現状は】 古い歴史・文化・さらに豊かな自然に恵まれて、環境の良さと比較的大都市に近いということが、ついのすみかとして当市へ移住してきましたが、今、最も困っているのは、公共施設に行くのも病院へも買い物にも出かけるには高い交通費を払って、しかも乗り継ぎがなくてはなりませんし、開業医さんやスーパーへ直接行ける公共交通はありません。ということは決して住み良い町にはなっていないのです。日東町からは評判の良い医院へも郵便局へもバスはありません。</p> <p>三、【問題を解決するための提案】 市当局の公共交通会議が第3期に入ったということですが、ぜひ公共交通について将来の望ましい展望（ビジョン）を作成して欲しいと思っています。現在の公共交通の運行は高野線の各駅から放射状的に発着しているのが特長だと思います。例えて言いますと、クモの巣のタテ糸があるのですがヨコ糸がありません。これでは交通空白地はそのままです。ヨコ糸というのは、具体的に言いますと、駅を中心に同心円を描くように運行する路線を2～3本考えてみてはどうでしょうか。</p> <p>四、【ビジョンを早急に作成するための二つの案】 一つは現在の地域公共交通会議の組織では少し大きすぎる気がします。と言いますのは、ビジョン策定には小さな組織によるプロジェクトチームを立ち上げることで、人員は都市政策の専門家・当市責任者（副市長）・交通政策課・民間交通会社・市民代表（2人）等数人によるメンバーで勢力的に会議を持って努力してもらうこと、二つ目は”持続可能”など言うのは予算と民間会社との関係に寄せる配慮ですが、進んだ地域では車体は自治体が持つ、運営は民間が負うというのが現代の常識のようです。</p> <p>五、【ビジョン作成に関して考えられる検討・課題】 1) 乗ってみたいくなる温かみのある車体にするには。（車内はフラットに） 2) 沿線の文化遺産・自然をフルに活用し、どのようにPRにつとめるか。 3) 商業（大型店舗）施設とどのように協力・共同をするか。 4) 運賃の上限は、又、乗り継ぎはどうする。 5) バス専用レーンを設けて、マイカーを規制してはどうか。 【さしあたっての試行運行について】 1) 三日市町駅発着日東町経由の福祉センター（体育館・イズミヤ）往復路線（ラプリーホール・キックスへの延長も考えられる）（ミニバス又はジャンボタクシー利用） 2) 行司河原分岐からの通学バスの運行 3) 下里町（交通空白地）発着路線の運行</p>	<p>本市の交通体系の基本方針は、都市計画マスタープランで都市核と位置付けている千代田駅・河内長野駅・三日市町駅周辺にバスなどの公共交通を集積し、これらの都市核を交通結節点として鉄道・バスなどへ円滑に乗り継ぐことができる交通体系を目指すことを基本としております。</p> <p>人口減少や高齢化が急速に進む中、ご意見いただきましたようにバスサービスの多様化が求められてきていることは十分認識しております。また、地域公共交通の維持、改善は交通分野の課題解決にとどまらず、まちづくり、観光、さらには、健康、福祉、教育、環境等の様々な分野で大きな効果をもたらすものであると考えております。</p> <p>本市では、高齢者や運転免許・自動車を保有しない人等、誰もが安心して生活できる移動環境の維持のためにも、持続発展できる公共交通の確保に重点を置き、既存バス路線の維持・充実を図るとともに、地域の特性やニーズに応じた多様な交通手段を有機的に組み合わせ、地域の実情に合った新たな地域公共交通ネットワークの形成を図ってまいりたいと考えております。</p> <p>本計画においては、公共交通の観点から、施策実施により目指すまちのイメージを「元気なまち」とし、「将来のまちづくりを支えるための公共交通サービスの提供」及び「公共交通サービス水準の向上」を目標とした、様々な事業を考えており、いただいたご意見については取り組みを実施する中での参考にさせていただきます。</p>	可

ご意見の提出者 4名（個人4）

ご意見の数 5件（個人4）